

いよいよ合併完結へ



鳩ヶ谷市長 木下 達則

市民の皆様の長年の願いであった川口市との合併が、いよいよ目前となりました。8月12日の総務大臣告示により合併手続が終了し、鳩ヶ谷市44年の歴史に幕を閉じようとしています。

当市は、日光御成道の宿駅だった鳩ヶ谷宿が、明治22年に浦寺村を合併、明治34年に北平柳村を編入合併して鳩ヶ谷町となり、今のまちの形を整えました。その後、昭和15年に川口市に編入合併し、昭和25年に分離、昭和42年3月に市制が施行されました。その後、川口市や近隣市との合併構想が浮上りましたが、実現には至りませんでした。

このような歴史を振り返りますと、当市は合併に揺れ続けたまちであったと言えます。私は、三市合併が崩れた後に市政を担うことになりましたが、常々、「合併は目先のことにとらわれることなく、10年後、15年後をしっかりと見据えた大きな投資である」と強く訴えながら進めて参りました。

川口市との合併は、鳩ヶ谷市民の将来にわたる安定した生活基盤の創

出と、この地域の発展を願うために、選択すべき重要な一歩であると確信しております。

当市は、開通10年を迎えた埼玉高速鉄道線や第2産業道路の開通により交通に恵まれた地区であり、地勢的に新「川口市」の中心地域となります。これまで自己完結の自治体として鳩ヶ谷らしさの気風を継承して参りました。これまでの歴史や文化を継承しながら、自治意識の高い地域の特色を生かしたまちづくりを進め、新「川口市」の繁栄につなげることを願ってやみません。

合併は新しいまちづくりの出発点です。市民の皆様におかれましては、川口市という大きな舞台で、生活の輪と活動の機会を拡げていただきたく存じます。

長年にわたり、当市の発展と住民福祉の向上にご尽力いただきました、多くの先人の方々をはじめ、市民の皆様にご心より敬意を表し、感謝申し上げますとともに、新「川口市」が輝かしい歴史の幕開けとなりますことをご祈念申し上げ、閉市にあたってのごあいさつといたします。

鳩ヶ谷のさらなる飛躍・発展に向けて



鳩ヶ谷市議会議長 野口 宏明

市民の皆様、さわやかな仲秋を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

今年は東日本大震災の影響もあり、節電の夏となりました。不便をおかけしましたが、皆様のご協力により、無事に停電もなく夏を越すことができました。心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ今月11日には鳩ヶ谷市と川口市が合併いたします。この「広報はとがや」も、これが最後の発行となりました。

今後は、人口約58万人の新「川口市」の「鳩ヶ谷地域」として新たに生まれ変わります。

市の名前は消えても、先人達が築いてきた鳩ヶ谷の歴史・伝統・文化を継承していくことが、これからの私達の役割であるでしょう。

そしてこれまで同様、顔の見える行政や地域コミュニティの連携という、きめ細かな「絆」を鳩ヶ谷の良い面として、新組織に引き継ぐ努力をして参ります。

さて、現在の鳩ヶ谷市議会議員は、10月10日をもってその職を失います。

そして、合併後に鳩ヶ谷地域から5人の市議会議員を選ぶ増員選挙が行われる予定となっております。

新しい体制の中でも鳩ヶ谷市の良さを川口市全体に広げ、また、川口市の良い面を鳩ヶ谷地域に取り入れることができるよう、議員一同尽力いたします。

そして、新「川口市」として、より安全で安心して暮らせるまちとするため、これまで以上に力を尽くして参る所存です。

この合併が契機となり、鳩ヶ谷のさらなる飛躍・発展に向けてのスタートになると確信しております。

皆様方には、これまで鳩ヶ谷市の発展にご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げますとともに、合併後の新「川口市」になりましても変わらぬご支援のほど、重ねてお願い申し上げます。

終わりになりましたが、今後の市民の皆様方のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。鳩ヶ谷市最後の議長としてのご挨拶とさせていただきます。

10月11日 新「川口市」が誕生

鳩ヶ谷市は川口市と合併し、10月11日に人口約58万人の新「川口市」としてスタートします。

【合併後の鳩ヶ谷地域の住所表示について】

合併後の鳩ヶ谷地域の住所表示は次のとおりです。
郵便番号や電話番号は現在と変更ありません。

合併前	合併後
鳩ヶ谷市桜町	川口市桜町
鳩ヶ谷市本町	川口市鳩ヶ谷本町
鳩ヶ谷市坂下町	川口市坂下町
鳩ヶ谷市大字里	川口市大字里
鳩ヶ谷市大字辻	川口市大字辻
鳩ヶ谷市三ツ和	川口市三ツ和
鳩ヶ谷市南	川口市南鳩ヶ谷
鳩ヶ谷市大字前田	川口市大字前田
鳩ヶ谷市八幡木	川口市八幡木
鳩ヶ谷市緑町	川口市鳩ヶ谷緑町

問合せ 総合政策課合併担当・内線2321、2322
(合併後は川口市総合政策課☎227-7515)

【合併後の広報紙・ホームページについて】

■広報はとがや

11月号から「広報かわぐち」に移行します。

広報かわぐちは毎月1日発行で、町会・自治会を通して配布しています。また、市内の各公共施設、JR駅、SR駅、郵便局、銀行、信用金庫、ファミリーマート、セブンイレブン、サミット、イオンモール川口キャラ、マルエツ、サンデーマート、アリオ川口、オーケーストア、ララガーデン川口などに備えてあります（一部を除く）。

問合せ 秘書広報課・内線2126（合併後は川口市広報課☎259-7628）

■鳩ヶ谷市ホームページ

「川口市ホームページ」に移行します。（鳩ヶ谷市ホームページは10月7日午後5時15分で閉鎖いたします）

問合せ 総合政策課・内線2431、2432（合併後は情報を掲載している川口市各課）

【鳩ヶ谷駅市民サービスコーナーの閉所時間変更のお知らせ】

合併に伴う住民情報等のデータ移行のため、鳩ヶ谷駅市民サービスコーナーは、10月7日（金）午後5時15分で閉所します。また、10月8日（土）～10日（月・祝）は臨時休所し、11日（火）から「鳩ヶ谷駅連絡室」になります。ご理解ご協力をお願いします。

問合せ 市民サービスコーナー☎280-2925、市民課・内線3121

市財政の健全化状況を公表します

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、平成22年度における市財政の健全化判断比率等を公表します。なお、本市は、すべての比率が国の示す早期健全化基準を下回っているため、健全であると判断されました。

問合せ 財政課・内線2522

●健全化判断比率（表：右上）

・実質収支または連結実質収支は黒字のため、実質赤字比率、連結実質赤字比率は「-」で記載。

・国の示す早期健全化基準をカッコ内に記載。

●資金不足比率（表：右下）

・黒字により資金不足がないため、「-」を記載。

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
- (13.15%)	- (18.15%)	6.3% (25.0%)	81.1% (350.0%)

特別会計の名称	資金不足比率
水道事業会計	- (20.0%)
公共下水道事業特別会計	- (20.0%)

合併関連式典の日程について

●●● 鳩ヶ谷市役所閉庁式 ●●●
10月7日（金）午後5時15分～
鳩ヶ谷市役所 来庁者駐車場（市民広場）

●●● 鳩ヶ谷市閉市式 ●●●
10月9日（日）午前9時30分～
西公民館2階ホール

●●● 鳩ヶ谷支所開所式 ●●●
10月11日（火）午前8時15分～
鳩ヶ谷庁舎正面玄関前

●●●川口市・鳩ヶ谷市合併記念式典●●●
11月10日（木）午後2時～
川口総合文化センター「リアア」
音楽ホール

新「川口市」のデータ

人口 578,913人
世帯 260,369世帯
面積 61.97km²
23年9月1日現在